HP

日本離床学会 教育講座
苦手克服シリーズ 3

# 脳卒中の看護ケア・リハビリテーションに必要な高次脳機能障害の基礎知識

## ～的確なゴールを予測するための臨床応用法～

講座コード R-25　難易度 ★★☆☆☆

**松山講演**

日　時：2020年 6月28日(日) 10:00～16:10

会　場：ひめぎんホール（松山市道後2-9-14 伊予鉄道 南町駅より徒歩2分）
講　師：飯田 祥 先生（日本離床研究会 学術研究部）
対　象：看護師・PT・OT・ST（左記以外でも受講可）
受講料：一般 12,800円（税込）　会員 9,800円（税込）
※事前登録制：先着順で定員になり次第締め切り　※食費・宿泊費等は含まれません

### 前から疑問だった高次脳機能障害 一度ここで整理してみませんか？

「運動麻痺も感覚障害もないのに転倒を繰り返す」「嚥下テストに問題がないのに誤嚥してしまった」そんな症例は高次脳機能障害が影響しています。しかし、実際の臨床では、症状がたくさんな上に病態が複雑でしっかり解釈ができないと悩んでいませんか？そこで当会では、脳画像をヒントに高次脳機能障害の症状と病態を極限までシンプルにして理解する講座を考案。症状理解とアセスメントに終始せず、得られた情報から臨床アプローチ・ゴール設定に活かす方法を徹底的に学びます。さあ、あなたも現場ベースで創られた独自のプログラムを学んで、しっかり高次脳機能と向き合ってみませんか？

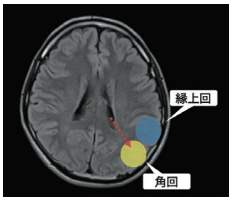
## 脳を平面ではなく3Dで理解して高次脳機能を直視する独自のプログラム

### Lesson 1　脳画像からみた高次脳機能障害のメカニズム

高次脳機能障害を理解するためには、脳の機能を知ることが一番の近道。全ての脳機能を暗記するのではなく、脳画像を用いて高次脳機能障害を起こすメカニズムに迫ります。

**画像がわかるとこんなことが説明できます**

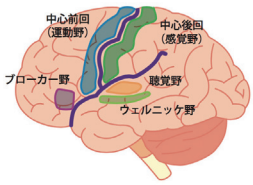
◎前頭葉症状が小脳障害で起こる理由
　～神経ネットワーク・ループの秘密～
◎左側の視床障害で失語症が起こる理由
　～形は対称で機能は非対称な左右の脳～




### Lesson 2　グループ別に理解する高次脳機能障害の症状と病態

高次脳機能障害の症状・病態・責任病巣を一つ一つ覚えるのは数が多く大変です。実際の事例に活かすためには、障害が起こる場所でグループにして理解することが重要です。

**前頭葉系** 注意障害・遂行機能障害ほか
**頭頂葉系** 失行・失認ほか
**側頭葉・大脳辺縁系** 記憶障害・視覚性失認
**劣位半球** 半側空間無視・身体失認ほか
**優位半球** ゲルストマン症候群ほか




### Lesson 3　高次脳機能障害における障害別アプローチの実際

◎様々な評価結果と重症度判定から組み立てる具体的介入とゴール設定のしかた
◎高次脳機能障害にはどんなアプローチが有用なのか？
　～誤りなし学習(errorless learning)・プリズム適応・ストラテジー訓練など～
◎このようなアプローチは良いか？悪いか？
　a. 半側空間無視の患者さんに無視側から話しかけた
　b. 注意障害はあるが離床を進めるために談話室で食事を開始

※被写体はモデルです

### Lesson 4　症例から学ぶ高次脳機能障害患者への具体的アプローチ

基本的なことは知っているけれど、実際の症例になると様々な症状が重なって難しいと感じたことはありませんか？この項ではよく出会う症例を挙げ、起こりやすい障害とアプローチ法について考えます。

◎脳出血の好発部位　被殻・視床出血で起こる障害の特徴
◎中大脳動脈閉塞による脳梗塞から
　いわゆる劣位半球症候群を呈した1例
◎くも膜下出血後、歩行可能も高次脳機能障害により
　ADL自立困難であった1例

※この講座は離床アドバイザー習得コースの理論コース1単位を取得できます。

### 受講方法

① ホームページよりオンライン登録
② 添付の申し込み用紙に記入の上、FAXまたは郵送
　申し込み用紙はホームページからもダウンロードできます

日本離床学会　検索

### お問い合わせ・お申込先


臨床を元気に！ 日本離床学会
〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-12 プラーレルビル2F
ホームページ https://www.rishou.org/
TEL 03-3556-5585　FAX 03-6272-9683
Eメール jsea@rishou.org